



※代表質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和4年2月定例会を選択すると視聴できます。

代表質問 とは？



代表質問とは・・・

毎年2月定例会で行われる、次年度の市長施政方針の内容に対して、議会各会派から選ばれた議員1人が代表して質疑を行うことです。

富士宮市議会には、現在6つの会派と2人の無会派議員がいます。無会派議員2人を1つの会派とみなし、合計7人の議員が、各々の会派等を代表して質疑しました。



日本共産党議員団

わかばやし しづこ
(若林 志津子)

市政運営の基本的姿勢について

問 「新しい資本主義を起動することで、成長と分配の好循環の実現を目指す」という政府方針についての市長の考えを伺う。

市長 政府が目指す「新しい資本主義」については、具体的な実行計画を今後とりまとめるとしており、現在、意見を述べる段階ではないが、地方を活性化させる戦略などの具体策の動向に注視し、活用できる部分に対応していきたい。また私が考える資本主義の方向は、企業の内部留保を労働者や中小企業に再分配することで、経済の活性化につなげるものである。

その他の問

- ・エッセンシャルワーカーの処遇改善
- ・市立病院を核とする地域医療体制の確保の充実とあるが、医師会との協議は
- ・病児保育を利用できる対象は など

キセキ

こんどう ちづる
(近藤 千鶴)

問 どんなことにも立ち直る心と自分の命やまちは自分たちで守っていく市民の皆様の強い心をどのような施策で醸成させていくのか。

部長 強さしなやかさ、その醸成についてはSDGsの取組を有徳のまちづくりの視点からも感じてもらえるような工夫をしてみたい。

問 10年後に新入学生が半分になってしまうが学校の統廃合や適正化計画は考えているか。

教育長 適正化計画は考えていない。子どもの数の減少に伴い、学校が成り立たなくなったときには、休校や廃校をせざるを得ない。

問 (仮称)富士宮市立郷土史博物館の基本構想について、議会への説明よりも市民の皆様への周知を徹底してほしい。

部長 詳細は検討中。できるだけ多くの機会を設け、丁寧に説明していく。

育成

さの かずや
(佐野 和也)

問 新型コロナウイルスへの対応を最優先するための具体的な施策とは、どのような内容なのか。

部長 3回目の接種を当初2回目の接種完了から8ヶ月以上経過したものとされていたが、厚生労働省からの通知により早期の接種を推し進めることが示されたことを受け、2月下旬に2回目接種完了から6ヶ月経過と前倒しをはかり、接種券到着後すぐにコールセンター及びインターネットでの予約が可能となるよう受付体制を整えた。2回目の接種完了者は全体で10万1174人(77.10%)で3回目の接種完了者は1万9379人(14.77%)である。今後も市民に安心して3回目のワクチン接種を受けていただけるよう努める。